ハンドマイク街頭演説原稿例　大軍拡・大企業支援の補正予算

二〇二四年十二月二十日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　先日、国会で二〇二四年度の補正予算が成立しました。賛成したのは自民、公明の与党と日本維新の会、国民民主党などで、日本共産党、立憲民主党、れいわ新選組などが反対しました。審議を通じて一部修正がされましたが、補正予算の最大の問題をただすものとはなりませんでした。衆議院で野党が多数となったもとで、これまでの自民党の政治の根本的な問題点をただし、国民が願う方向に変えていくことが野党に求められているのではないでしょうか。日本共産党はその立場で取り組み、根本問題を正面からただしましたが、このような取り組みは日本共産党だけでした。日本共産党はこれからも、政治の歪みをただしていくために力を尽くす決意です。日本共産党へのご支持、ご支援をお願いします。

　みなさん、日本共産党が補正予算案に反対した理由の一つは、補正予算総額約十四兆円のうち、八千二百六十八億円が軍事費となっていることです。これは、相次ぐ地震や豪雨災害にあった石川県能登地域の復旧・復興費の３倍以上です。国を守る、国民を守るというならば、まずは自然災害で苦しんでいる国民を支えることこそ必要ではないでしょうか。しかも、軍事費の補正内容も二〇二五年度以降の支出の前倒しが多くを占めています。本来、補正予算は緊急な対応が必要なものに限って計上するのが法律で定められたルールです。このルールを破っていることからも、今回の補正予算に賛成することはできません。

　また、能登地域への支援策が不十分であることも、日本共産党が補正予算に反対した理由です。例えば医療費などを全額国の費用で減免するといった、被災者に負担が生じないような十分な支援策が必要です。また、被災者生活再建支援法による住宅再建の支援金を引き上げることも、被災者の生活再建のために求められています。今回の補正予算には、こういった対策が不十分です。

　ところでみなさん、買い物をするたびに、どんどん物価が上がっていることを実感されている方が多いのではないでしょうか。物価対策で、もっとも効果的な方法は消費税を引き下げることです。一律５％に減税すれば物価対策になるだけでなく、中小零細業者や個人事業主のみなさんを苦しめているインボイスもいらなくなります。大変効果が高い消費税減税ですが、政府・与党は検討しようともしません。日本共産党は消費税の廃止をめざし、まずは減税をすべきだと提案しています。実現のため、引き続き全力を上げます。

　さてみなさん、「１０３万円の壁」の問題が大々的に報道されています。これ以上の収入があると所得税などが課税される課税最低限は、約三十年にわたって１０３万円に据え置かれてきました。生活に最低限必要なお金には税金をかけない、生計費非課税の原則に立ち戻り、課税最低限を大幅に引き上げるべきだと日本共産党は考えています。この立場で、日本共産党はがんばっていきますので、引き続きのご支援、ご支持をお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）